

令和5年12月

遠野市教育委員会定例会会議録

遠野市教育委員会

令和5年12月遠野市教育委員会定例会会議録

- 1 開催場所 遠野市役所東館庁舎 3階大会議室
- 2 開催日時 令和5年12月19日(火) 午前10時00分
- 3 出席状況

○出席者

教育長	佐々木 一人
委員	菊池 崇
委員	菊池 和子
委員	藤山 重理子
委員	小玉 淳浩

○説明等のため出席した職員

教育部長	伊藤 貴行
市民センター所長	海老 寿子
健康福祉部長	菊池 寿
学校教育課長	齋藤 真
学校総務課長	多田 清子
学校給食センター所長	菊池 今英

開会・開議 午前10時00分

1 開会

○学校総務課長

本日の令和5年12月遠野市教育委員会定例会は、委員全員の出席でございますので会議が成立していることを報告いたします。

ここからは、遠野市教育委員会会議規則によりまして教育長が進行いたします。

○教育長

ただいまから令和5年12月遠野市教育委員会定例会を開催いたします。

2 諸報告

○教育長

本日は議案がありませんので、早速、次第の2の諸報告に入りたいと思います。

はじめに(1)「令和5年12月遠野市議会定例会一般質問教育長答弁概要について」お願いいたします。

○学校総務課長

「令和5年12月遠野市議会定例会一般質問教育長答弁概要について」、報告いたします。

(以下、教育長答弁概要により説明)

○教育長

教育長答弁概要について説明が終わりました。質疑等ございませんか。

小玉委員お願いします。

○小玉淳浩委員

千田由美子議員からの質問にあった公営塾に関し質問します。小中学校の公営塾のことについては、具体的なお話がありましたが、高校については、遠野高校と遠野緑峰高校においても公営塾を実施する予定であるとのお話がありました。具体的に決まっていることがありましたら教えてください。

○教育長

学校総務課長お願いします。

○学校総務課長

来年度からの取組みとなりますが、進学対策と就職対策といった形で公営塾を実施しようと思っております。コマ数等を決めまして、両校生徒の希望者を対象に公営塾を行なう予定としており現在準備を進めております。

○小玉淳浩委員

市外の高校へ進学する生徒も結構おりますので、是非、市内高校の魅力を充実させ、市内の高校へ多くの生徒が進学するように努めていただきたいと思います。もう一点質問しますが、この公営塾は有償になりますか。

○教育長

学校総務課長お願いします。

○学校総務課長

無償で行う予定としております。

○教育長

小玉委員よろしいですか。

○小玉委員

分かりました。

○教育長

その他ございませんか。菊池和子委員お願いします。

○菊池和子委員

学力向上対策についてお伺いします。現在、放課後学習を行ったり、先生方が一生懸命授業の改善に取り組んだりといろんなことを頑張っておられますが、答弁概要に「全国学力・学習状況調査では、一部の領域において全国正答率が下回っている」というふうに記載されており、原因として、授業で身に付けた力をテスト等で発揮することができない状況にあるのではないかという分析をされております。これは具体的にどういうことを指しているのか。本当にそう思っているのか。何か根本的な見逃しをしていないかといった辺りをみんなで協議できればいいと思います。

○教育長

学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

分析等については細やかに行うことが必要だと思っておりますが、今実態を見ていて感じるところは、子ども達に「授業がわかりますか」というのに対して児童生徒質問紙調査

というのがありますが、それについて「分かっている」と答えている子ども達は結構多いです。遠野市においても、その数値は非常に高い数値ですけれども、「分かる」と子ども達は言うのですが、実際に問題をやったときにできるかといいますと、このような結果が出ているのが実態でございます。そう考えたときに子ども達は、もしかしたら分かった気になっているのではないかと。分かった気になっていても出来るというところまで達していないのではないかとというような分析も一つございます。そのように考えたときに、子ども達が授業を理解するということから、実際に様々な問題で対応しているいろんなことに対応できるようまで引き上げたいということで、放課後学習塾の方で様々な問題、課題のところを子ども達が実際に授業で身に付け、分かった力を使ってできるようにさせるということまで引き上げたり、家庭学習においては、授業で分かったことを実際に家に帰って解いてみるということでも力を付けさせたり、そして、出来ていない状況から一つでも二つでも授業が分かったことにより、いろいろな問題が解けるようになるということまで引き上げたいと考えております。それだけが一因ではないと思いますが、課題となっている問題から分析の方まで今後も進めてまいりたいと思います。

○教育長

よろしいですか。

○菊池和子委員

授業を分かったつもりになっている子は結構多いのではないかと私は思います。それがちょっと形を変えた問題になるとできなくなったり、途中で考えるのをやめてしまったりということもあるかと思います。その辺が継続できない原因の一つにあるのではないかと思います。根気強く問題を解いていくような力が身に付いてこない、できなかったからやめてしまう、終わりにしてしまうといった子ども達が結構いるのではないかと考えています。学校でいろんな問題をやらせて頑張らせるのもそうですし、家庭での学習の中で、こんな問題をやってみたいとか、友達と一緒に勉強したいとか、いろんな方法を模索していくべきだなというふうに思いました。

○教育長

ありがとうございました。その他ございませんか。
菊池崇委員お願いします。

○菊池崇委員

地域の学習ボランティアについて伺います。インプットの部分になりますが学習ボランティアはどういった方々がやられておりますか。なぜ質問をしたかというと学校の教え方が私達の学生当時に受けていた授業と現在の子ども達の授業では教える内容が結構違っていると思います。例えば算数では定規を使ったり、あるいは導き方が違っていたりします。学習ボランティアの方がそこを理解できずに教え方が違ったりすると、子ども達が混乱するのではないかと思います、どのような方々が教えているのか伺ったところです。

○教育長

学校総務課長お願いします。

○学校総務課長

地域の方にご協力をいただいておりますが、資格経験等は不要とし子ども達の学習支援活動に理解のある方をお願いしております。この放課後学習で行っておりますのは、プリントや宿題など、子ども達たちが取り組む学習に対しての見守りや丸付けとなります。分からないことを聞かれた場合は教えておりますが、基本的には丸付けや見守りが中心となります。教え方等については、学校の先生方との連携や相談も必要となりますので、積極的に教えるということではありませんが、学習の定着化、継続化を図っていくという目

的で行っております。

○菊池崇委員

分かりました。あくまでも補助的な指導ということで、誰でも協力できるボランティアの形ということで理解しました。

先程のお話を聞いていて思いましたが、遠野の子ども達は、勉強においてインプットするのは積極的に行なっているというデータかと思います。他の競技を教えていると思いますが、自分の能力を外に出すアウトプットの力があまり上手ではない印象があります。外に出す能力を高めていければ、より効果が上がってくるのではないかと思います。意見になります。

○教育長

ありがとうございました。

その他ございませんか。菊池和子委員お願いします。

○菊池和子委員

図書館について伺います。私は図書館が好きで図書館通いをしていますが、ここ10年、図書館の中があまり変わっていないと感じております。聞きたかったのは、こども本の森と図書館と各学校との連携体制についてになりますが、例えば、施設間で本の貸し借りを行ったり、読みたい本を発見する取り組みを行ったりといった具体的な事例があれば、市内に広めていただければありがたいと思っています。学校図書だけではなく、いろんなところで子ども達が本に触れることは、すごく大事なことだと思いますので、その辺りの連携の良い事例がありましたら教えてください。

○教育長

市民センター所長お願いします。

○市民センター所長

図書館とこども本の森の棲み分けについては、図書館は本の貸し出しができる、いろいろな参考図書等のレファレンスサービスを行っているということがこども本の森との違いかと思います。また、こども本の森については、その場でその本を読んで楽しむという形で小さい子どもから大人まで楽しめる本がいろいろとあります。その中で、こども本の森にない本を探している方がいらっしゃった場合は、市立図書館に照会し案内したり、市立図書館に無い場合は県立図書館に照会したりといったレファレンスサービスを繋いでいく取り組みもしております。また、学校図書との繋がりについては、市立図書館の方で年に数回程出向きまして、本の貸し出しコーナーの本の入れ替えを行っております。3館それぞれの違いが分かりづらいところもありますので、それぞれの生かし方を工夫していきたいと思います。

また、市立図書館には司書がおりますので、そういった面での学校との連携など、3館通じての連携を深めていかなければならないというところは、課題として捉えております。

○教育長

青笹地区は、非常に読書に関して力を入れているところだと思います。昨年度になりますが、まちづくり協議会の方で子ども達をこども本の森に連れて行き、利用しているとのことでした。そのような取り組みも行われておりますので、これから広まっていけばいいなと思っております。

○菊池和子委員

青笹地区の方でこども本の森に行ったというお話は聞いていて、大人の方からも行って良かったという感想を聞きました。これからもっと広がればいいなというふうに思います。

もう一つ気になるのは、学校にいる司書教諭の資格を持っている先生方は、担当が図書だということで、他の校務分掌は外されているのだらうと思いますが、司書教諭のいる学校とない学校では何か違いがでているのか。数値に表れるものではないですが何か成果が上がっているのか。司書教諭の先生方がすごく負担に感じているのではないかと思います。図書ボランティアの方々には、各学校で活動いただいておりますが、すごくいい動きをしてくださり感謝しておりますし、読み聞かせや本の紹介、図書の修繕など幅広くやっていただき大変嬉しく思っています。そういう裾野を広げるような研修会も行われているようでしたので、今後も続けていただきたいと思っております。司書教諭の仕事の量や専門的な知識が生かされるところがあるのかといったあたりもすごく危惧しています。是非軽減をお願いしたいと思います。

○教育長

ご意見として承ります。

その他ございませんか。藤山委員お願いします。

○藤山重理子

今回、多数の議員さんから図書館について意見が寄せられているなど感じました。学校に行くと、子どもの目線で身近に手に取れるところに本が置かれていて、学校で工夫されているのをすごく感じます。細かいところに行き届いた配慮をすごく感じますが、実際に保護者が図書室に入る機会が今考えるとあまり無かったので、これからの新1年生の入学説明会等の機会に保護者が図書室を見学する機会があれば、保護者が知ることにより子ども達に対してこういった本が図書室にはあるよと紹介もできると思います。家庭で本に興味を持ってもらえる機会が少しでも増えればいいなと思いました。

○教育長

ご意見として承ります。

その他ございませんか。小玉委員お願いします。

○小玉淳浩委員

部活動指導員について伺います。現在市内で5名の部活動指導員を配置しているということですが、これは希望があった学校の希望があった部活に配置されているのか。また、配置事業補助金を活用しとありますが部活動指導員は報酬をいただいて指導しているのか伺います。

○教育長

学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

部活動指導員に関わっては、学校からどの部活動の指導員が必要かというようなことを年度末に確認させていただいております。調査して必要な部活動指導員を指導できる方を探すというような形となっております。全ての種目について部活動の指導員を配置できるかという指導員の専門性の関わりもありますので、なかなか難しいところはある程度、要望に応えた形の配置となるよう心掛けているところでございます。

また、報酬については、支払いを行っております。

○教育長

よろしいですか。小玉委員お願いします。

○小玉淳浩委員

小学校のスポーツ少年団の指導者の件になります。団員も減っている状況ですが、指導

者も非常に減少している状況です。今年から資格の制度が変わり資格登録する場合に1万数千円を個人で支払い、指導者を継続していくという形になっております。スポーツ少年団の指導者は大体がボランティアで指導しており、お金を払ってまで指導を続けなければならないことに指導者を辞めようと考えている方も実際いる状況です。意見になりますが、ぜひ指導者の登録料等を市で補助していただけるようご検討をいただきたいです。

○教育長

市民センター所長お願いします。

○市民センター所長

市の補助については、まだ検討には至っていないところですが、市の体育協会の方で、そういった資格を取得するための補助制度を令和5年度から設けております。指導者の方々からも総会の方でそういった話が出ておりました。お知らせ等は、団体の方に内容が周知されていると思います。現段階では、申請があったというお話は聞いておりませんので、もう少し周知が必要かと思っておりますが、そちらの制度を利用いただいて資格を取得していただきたいと思っております。

○小玉淳浩委員

資格取得だけではなく、4年に一度更新する時にも1万数千円の負担があるようですので、長い目で見た検討をいただきたいと思っております。

○教育長

ご意見として承ります。

その他ございませんか。菊池崇委員お願いします。

○菊池崇委員

確認になりますが、部活動が地域へ完全移行するのはいつなのか。それから、中総体などの大会の参加者資格はどうなるのか。クラブチームが参加できるのかといった大会内容の変更の見通しなどを確認します。

○教育長

学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

部活動の地域移行に関わっては、当初、令和7年度に部活動を地域移行するようなお話がありましたが、その後、努力目標という形で推進していくこととなっております。完全な地域移行が令和7年度に果たされるようにという達しにはなっておりませんので、例えば、部活動と地域スポーツの併存というような形で進めているところです。お話いただきましたクラブチームの中総体や新人戦等の参加資格については、全国中学校体育大会で参加を認めたことを皮切りに、中体連でも出場資格を広げております。ただ、急な決定だったこともあり、クラブチームの参加の仕方や参加資格については、都道府県ごとに異なる対応となっております。

○教育長

菊池崇委員よろしいですか。

○菊池崇委員

分かりました。

○教育長
その他ございませんか。

(なし、の声)

○教育長
次に（２）の一般報告に入ります。

(教育長、教育部長、市民センター所長から報告)

○教育長
一般報告が終わりました。ご質問ございませんか。
菊池崇委員お願いします。

○菊池崇委員
全国学校給食甲子園についてももう少し詳しく教えてください。

○教育長
学校給食センター所長お願いします。

○学校給食センター所長

北海道東北ブロックの代表として、決勝大会の調理コンテストに出場してまいりました。結果として、準優勝に次ぐ3位相当の21世紀構想研究会特別賞を受賞いたしました。この12月10日の調理コンテストは、後片付けを含む1時間という制限時間内に6食を作るという内容でした。献立を考案した黒田栄養教諭と調理員の運萬さんのお二人が大会に臨みました。海・山・平地の食材を組み合わせたとても美味しい献立を提供していただいたという講評をいただきました。この大会の様子はユーチューブのアーカイブ配信がされておりますので学校給食甲子園のホームページからご覧になっていただくことができます。今回受賞した献立は1月30日の給食で子ども達に提供する予定ですし、一般の方々にも試食会ということでお知らせをしております。是非、この機会に味わってみたいということで企画をしました。なお、詳細については、お配りしております資料にまとめておりますので、後程ご覧ください。

○教育長
試食もできますので、ぜひお申し込みください。全国学校給食甲子園ですが、岩手県においては、2012年以來の賞となっております。2012年の時は、岩手大学附属特別支援学校が入賞しておりますが、それ以來となっております。
その他ございませんか。菊池和子委員お願いします。

○菊池和子委員
ブリティッシュヒルズ英語体験事前研修会というのがありましたが、11人の子ども達が申し込んだということですのでごく嬉しく思います。そういうことに果敢に挑戦していく子ども達もいることをたくさんアピールしてほしいですし、帰ってきた子ども達達がそれを生かして活躍できることを願っています。

○教育長
17人の応募がありましたが、厳正な抽選により11名が選ばれました。
その他ございませんか。

(なし、の声)

○教育長

以上で一般報告を終わります。

次に（３）来月の行事予定についてお願いします。

○学校総務課長

1月の行事予定について説明します。

（以下、1月の行事予定について説明）

○教育長

来月の行事予定について確認等ありましたらお願いします。

（なし、の声）

3 その他

○教育長

次第3その他に入ります。はじめに健康福祉部長お願いします。

○健康福祉部長

ありません。

○教育長

最後に令和6年1月教育委員会定例会の開催予定日についてお願いします。

○学校総務課長

1月定例会については、1月18日木曜日の午前10時から、場所は東館庁舎3階大会議室を予定しております。9時30分から事前の勉強会を開催する予定としております。

4 閉会

○教育長

これを持ちまして、令和5年12月遠野市教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉会 午前11時15分

会議録作成者 教育長 佐々木 一人

署名 委員 菊池 崇

署名 委員 菊池 和子

署名 委員 藤山 重理子

署名 委員 小玉 淳浩